

平成29年7月12日

平成28年度<こども部会>活動実績報告(概要版)

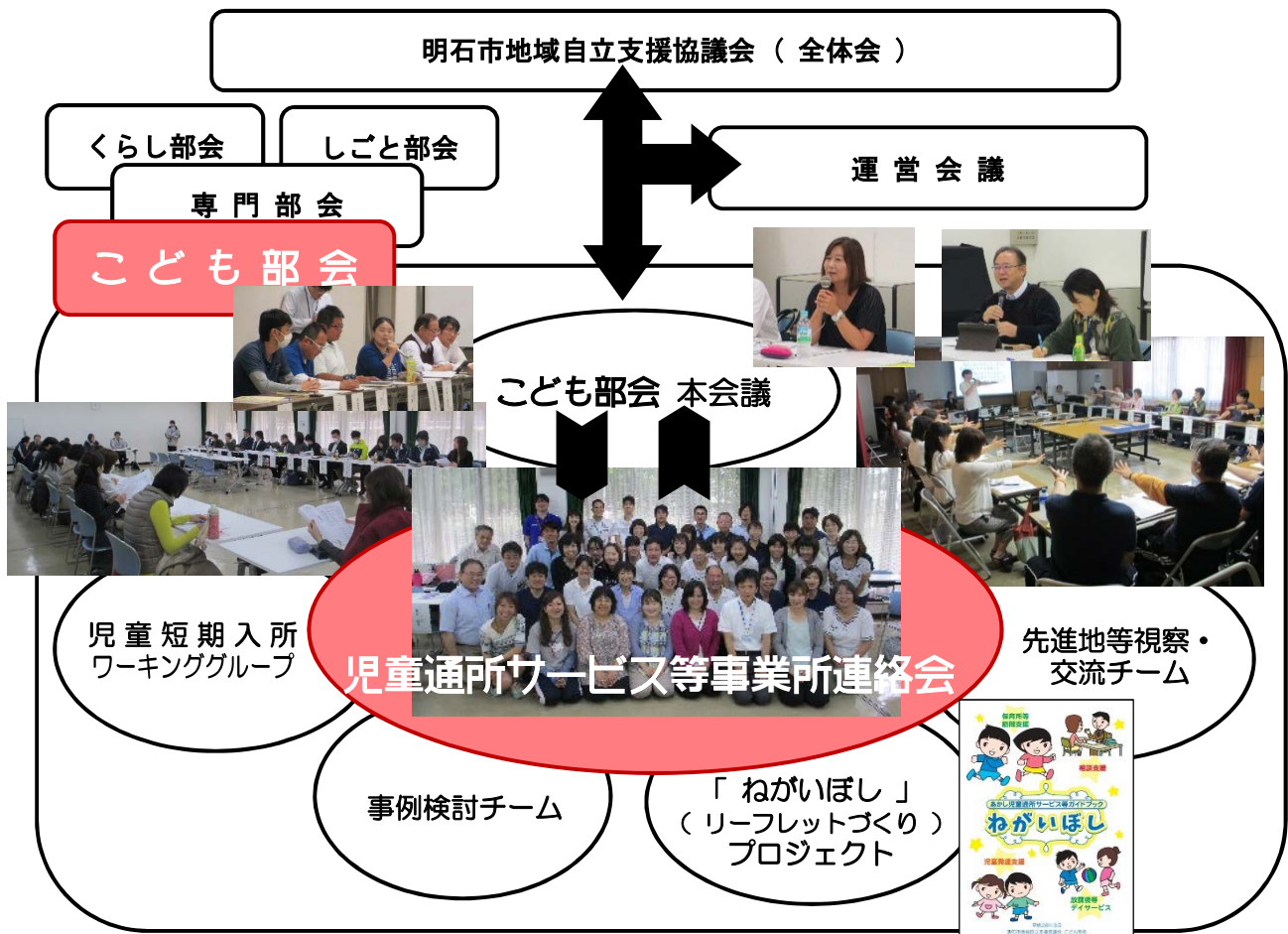
部会長 飯塚 由美子
(明石市立 あおぞら園・きらきら 施設長)

副部会長 泉 和 男
(相談支援事業所 シーム 相談支援専門員・言語聴覚士)

1. 基本的な活動方針

- ・<こども部会>は、「ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)」の理念のもと、「明石市第4次障害者計画」における優先課題の解決を目指し、「明石市障害福祉計画(第4期)」における計画の基本方向等を踏まえ、具体的な活動やあり方を議論しています。
- ・「顔の見えるネットワークづくり」を基本に、「児童通所サービス等事業所連絡会」をコア(核)ワーキンググループとして、「すべての子どもたちがしあわせに暮らすことのできる社会」・「共に育つ社会」の実現に向けて、子どもたち・ご家族のみなさまのニーズに応えることができるように、知恵を出し合うことで、問題・課題の解決への糸口をみいだすことのできる集団となることを目指します。
- ・「児童通所サービス等事業所連絡会」を構成するすべての者は、「こどもの福祉に携わる職業人・専門家」であることを自覚し、「子どもに対するよりよい発達支援・療育と連携」を目指して、発達支援・療育の向上に切磋琢磨していきます。
- ・これからも、啓発活動とおしたさまざまな取り組みにより、地域自立支援協議会活動の幅を広げるとともに、担い手づくりをすすめます。

◎ 平成28年度の <こども部会> の 位置づけ



【 ＜こども部会＞平成28年度の活動方針・重点活動 】

- ① こどもの福祉に携わる職業人・専門家として、発達支援・療育の専門性を高めていく
- ② 学校卒業後の進路や就職をみすえ、ライフステージを意識した発達支援の担い手づくり
- ③ こども・支援者・事業所も地域社会の一員であることを意識した発達支援の担い手づくり
- ④ 特別な支援が必要なこどもについての理解を促すための環境づくり
- ⑤ 「サポートノート」の活用の活発化
- ⑥ 学校・教育機関との連携
- ⑦ 病院・診療所等の医療機関との連携
- ⑧ 医療的ケアが必要なこどもに対する支援
- ⑨ こどもの短期入所に関する調査・研究

2. ＜明石市地域自立支援協議会（全体会）＞での提言・活動発表・報告等

▼ 第1回 明石市地域自立支援協議会(全体会) 平成28年7月20日(水)

・提言・発表

◎ 「今からでも遅くない。わたしたちにできること」
～ 地域で支える、みまもる ～

- (1) 「こども」たちがしあわせに暮らすために、わたしたちにできることを考えてほしい。
- (2) 小さくても、一歩を踏み出してほしい。



・平成28年度 ＜こども部会＞活動実績と今後の方針について（その1）

DVD映像を流しながらこども部会の提言が報告された明石市地域自立支援協議会
＝市民会館で

障害者理解へ

「地域発信が重要」

明石市地域自立支援協議会 **こども部会が提言**

障害者総合支援法に基づき、障害のある人も暮らしやすい地域づくりを目指す明石市地域自立支援協議会の全体会が20日、同市中崎1の市立市民会館で開かれた。専門部会が昨年度の実績と今年度の方針を報告。このうち「こども部会」は障害者も――の3部会担当者が活動報告をした。

こども部会の飯塚由美子部会長（明石市立美子部会長、きらきらあおぞら園・きらきら施設長）は、「今からでも遅くない。わたしたちにできること」をテーマに、障害のある子どもたちを地域で支え、見守るための提言を発表。約30分間の映像で、児童発達支援事業所の役割▽障害児を持つ母親の思い▽自閉症青年へのいじめ事例などを報告するとともに、「もし自分だったらと思う」「個性を尊重して認め合う」などと市民からのメッセージも流して、みんなで支え合うために地域へ発信することの大事さを訴えた。委員からは「自分自身の問題と気付くことが大事だ」「取り組みを丁寧に発信していこう」など、共感の意見が相次いだ。

くらし部会はグループホーム拡充に向けたアンケートなど、しごと部会は市内の障害福祉施設の自主製品の商品カタログ製作など、それぞれの実績を報告した。

【駒崎秀樹】

2016年 平成28年 7月21日(木) 明石 三木 第48105号

明石・三木

7月21日(木)
2016年(平成28年)

発行所：大阪市北区堀田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)545-1551
毎日新聞大阪本社

新毎日

▲ 平成28年7月21日(木) 毎日新聞 朝刊 26面（明石・三木版）

- ▼ 第2回 明石市地域自立支援協議会(全体会) 平成28年10月19日(水)
・平成28年度 く ども部会 > 活動実績と今後の方針について (その2)
- ▼ 第3回 明石市地域自立支援協議会(全体会) 平成28年12月21日(水)
・平成28年度 く ども部会 > 活動実績と今後の方針について (その3)
- ▼ 第4回 明石市地域自立支援協議会(全体会) 平成29年 1 月25日(水)
・平成28年度 く ども部会 > 活動実績と今後の方針について (その4)



3. く ども部会 > 本会議 (構成員 11名)

- ・子どもを取り巻く現状を把握・分析し、く明石市地域自立支援協議会(全体会)く等へ報告・提案をします。
- ・ワーキンググループの設置・承認を行い、各ワーキンググループの方向性やその活動のあり方を議論します。
- ・原則、奇数月の第2水曜日に開催し、当該年度中に、6回開催しました。

- ▼ 第1回 本会議 平成28年 5 月11日(水)
・平成28年度の く 明石市地域自立支援協議会 > ・く ども部会 > の活動について 外

- ▼ 第2回 本会議 平成28年 7 月 6 日(水)
 - (1) 新しい委員の紹介
・任 期：平成28年 7 月 1 日 より 平成31年 6 月30日 までの 3 年間
 - (2) く 部会長 > ・く 副部会長 > の選出について
 - (3) く 平成27年度 ども部会 活動報告書 > について
 - (4) 平成28年度の く 明石市地域自立支援協議会 > ・く ども部会 > の活動について 外

- ▼ 第3回 本会議 平成28年 9 月14日(水)
 - (1) く 平成28年度 第1回 明石市地域自立支援協議会 (全体会) > 報告
 - (2) く ども部会 > ・ 各ワーキンググループの活動について 外

- ▼ 第4回 本会議 平成28年11月 9 日(水)
 - (1) く 平成28年度 第2回 明石市地域自立支援協議会 (全体会) > 報告
 - (2) く ども部会 > ・ 各ワーキンググループの活動について
 - (3) く ども部会 > の 啓発活動 について 外

- ▼ 第5回 本会議 平成29年 1 月11日(水)
 - (1) く 平成28年度 第3回 明石市地域自立支援協議会 (全体会) > 報告
 - (2) く ども部会 > ・ 各ワーキンググループの活動について
 - ① く 児童通所サービス等事業所連絡会 > の更なる活発化について
 - ② 『 あかし児童通所サービス等ガイドブック「ねがいぼし」 』の送付について
 - ③ く 児童短期入所ワーキンググループ > におけるアンケート構想の取り扱いについて
 - ④ く 啓発・イベントプロジェクトチーム (ワーキンググループ) > の設置について
 - ⑤ 『 1 万人のメッセージプロジェクト 』について
 - (3) く ども部会 > の 啓発活動 について
 - (4) 平成29年度の活動の方向性について 外

▼ 第6回 本会議 平成29年3月15日(水)

- (1) <平成28年度 第4回 明石市地域自立支援協議会(全体会)> 報告
- (2) 『あかし児童通所サービス等ガイドブック(愛称:ねがいぼし)』について
- (3) 平成28年度のふりかえり
- (4) 平成29年度の <こども部会>・各ワーキンググループ等について
 - ・ <こども部会 本会議>
 - ① <児童通所サービス等事業所連絡会>
 - ② <「あかし児童通所サービス等ガイドブック」
製作プロジェクト>
 - ③ <児童短期入所ワーキンググループ>
 - ④ <啓発・イベントプロジェクト>
 - ⑤ <実践・事例研究チーム>
 - ⑥ <先進地等視察・交流チーム> 外



4. 児童通所サービス等事業所連絡会(◎<こども部会>コア(核)ワーキンググループ)

- ・<児童通所サービス等事業所連絡会>は、明石市内をサービス提供地域とする<児童発達支援事業所>、<放課後等デイサービス事業所>等の児童通所サービス事業所及び明石市内の<指定児童相談支援事業所>等が一同に会するコア(核)ワーキンググループです。
- ・平成26年11月に初回開催し、以後、原則、毎月の第3火曜日に開催しています。平成28年11月に、<2周年>を迎え、平成29年3月は、通算<第27回目>の開催となります。
- ・「顔の見えるネットワークづくり」を基本に、参加事業所相互の特色や取り組みを学び、参加者相互で発達支援・療育の向上をはかることを目的とした「ワンポイントレッスン」と、「情報・意見交換会」の2部構成とし、「営利・利潤を超えた」、「こどもに対するよりよい発達支援・療育と連携」を目指す、切磋琢磨できる基礎や仕組みができました。
- ・参加者相互が「こどもの福祉に携わる職業人・専門家」であることを自覚し、知恵を出し合うことで、問題・課題の解決への糸口をみいだすことのできる集団となることを目指します。
- ・これからも、啓発活動とおしたさまざまな取り組みにより、地域自立支援協議会活動の幅を広げるとともに、担い手づくりをすすめます。

【基本的な考え方】

- ◎ 私たちは、「こどもの福祉に携わる職業人・専門家」であることを自覚し、<平成28年度の活動方針・重点活動>を踏まえ、参加者相互で<発達支援・療育>・<相談支援>の知識をより多く得て、技術の向上をはかり、「しあわせで すこやかな よりよい育ち」のためのサポートをしていきます。
- ◎ 私たちは、<ライフステージ>を意識し、「こどもたちの育ちに何が必要か」、そのために「大人たちは何をすべきか / 何ができるのか」を考え続けていきます。

【平成28年度の主な議論・意見】

- ① こどもたちの<学校卒業後の進路>を意識した支援をしていきたい。
- ② 「サポートノート」の活用の活発化をしていきたい。
- ③ こども・保護者と向き合う発達支援・療育・相談支援のために、勉強会を企画したい。
- ④ <合理的配慮>について理解を深めたい。
- ⑤ 地域社会の一員として、地域の住民・地域の組織とのかかわりを意識した取り組みをしていきたい。
- ⑥ 平成29年度中に、啓発活動を目的とした「イベント」を企画したい。
 - 平成29年度当初までに、「こども部会 啓発・イベントプロジェクトチーム」のメンバーを募り、「1万人のメッセージプロジェクト」を中心とした、啓発活動を推進していきたい。
- ⑦ <しごと部会>・<くらし部会>と協働し、「明石市の福祉」を盛りあげていきたい。



▼ 第1回 平成28年4月19日(火) (38団体 50名 参加)

・平成27年度の活動を振り返り、平成28年度の活動の方向性について情報・意見交換しました。

▼ 第2回 平成28年5月17日(火) (36団体 47名 参加)

【第1部】ワンポイントレッスン 「サポートノート講座 (その1)」

『サポートノートの作り方・使い方』

明石市立発達支援センター 保健師 河野由賀氏

【第2部】〈サポートノート〉の活用・活発化をとおして、情報・意見交換をしました。

▼ 第3回 平成28年6月21日(火) (36団体 45名 参加)

【第1部】『保護者のみなさんの思いと声』

【第2部】〈保護者への支援のあり方・方法〉について情報・意見交換をしました。

▼ 第4回 平成28年7月12日(火) (37団体 49名 参加)

【第1部】ワンポイントレッスン・講演

『障害を理由とする差別の解消 子ども支援と合理的配慮』

明石市福祉部福祉総務課 障害者施策担当課長 金政玉氏



【第2部】

・〈合理的配慮〉について情報・意見交換をしました。

(※ 第5回 平成28年9月20日(火) (〈平成28年 台風第16号〉接近のため中止))

▼ 第6回 平成28年10月18日(火) (33団体 43名 参加)

【第1部】〈第1回 明石市地域自立支援協議会(全体会)〉(7月20日(水)開催) 報告

◎ 提言・発表 『今からでも遅くない。わたしたちにできること』

～地域で支える、みまもる～



【第2部】

・東播磨圏域コーディネーター (社会福祉法人 あかりの家) 濱口直哉氏 とともに、情報・意見交換をしました。

・平成28年度下半期の活動について

・〈こども部会〉の啓発活動について

・「こどもたちのしあわせで すこやかな よりよい育ち に 何が必要か」

・「大人たちは何をすべきか / 何ができるのか」

▼ 第7回 平成28年11月15日(火) (41団体 50名 参加) (★＜2周年＞)

【第1部】ワンポイントレッスン『明石市地域自立支援協議会〈しごと部会〉の取り組みについて』

明石市地域自立支援協議会 しごと部会 部会長 山崎 正幸氏
(社会福祉法人 明桜会 サポートセンター翔 センター長)

明石市地域自立支援協議会 しごと部会 副部会長 賀部 大輔氏
(社会福祉法人 博由社 博由園相談支援事業所 相談支援専門員)

【第2部】・〈ライフステージ〉を意識した発達支援・療育のなかで、「こどもたちの しあわせで すこやかな よりよい育ち のために何が必要か」、「大人たちは何をすべきか／何ができるのか」を考えました。

・〈しごと部会〉と〈こども部会〉の協働について意見交換をしました。

・「明石駅をはじめとする明石市内のＪＲ各駅におけるホームドアの設置を早期に求める市民署名」について



▼ 第8回 平成28年12月20日(火) (31団体 38名 参加)

【第1部】ワンポイントレッスン 「サポートノート講座 (その2)」

『サポートノートの効果的な使い方を考える』

明石市立発達支援センター 保健師 河野 由賀氏

【第2部】

・〈サポートノート〉の効果的な使い方について

・〈こども部会〉の啓発活動について

→「こども部会 啓発・イベントプロジェクト チーム(仮称)」設置構想について

→「1万人のメッセージプロジェクト(仮称)」推進構想について

・こども・保護者と向き合う発達支援・療育・相談支援のための勉強会の必要性について
→「放課後等デイサービスガイドライン」・関連書籍の読み込み・勉強会の開催の提案



▼ 第9回 平成29年1月17日(火) (32団体 44名 参加)

【第1部】ワンポイントレッスン 「応用行動分析について(その2)」

～実践への応用～

明石市立 あおぞら園 副施設長・臨床心理士 吉川 正勝氏

【第2部】

・「こどもたちの しあわせで すこやかな よりよい育ち に 何が必要か」

・「大人たちは何をすべきか／何ができるのか」

・「放課後等デイサービスガイドライン」等

・「明石駅をはじめとする明石市内のＪＲ各駅におけるホームドアの設置を早期に求める市民署名」について



▼ 第10回 平成29年 2月21日(火) (29団体 33名 参加)

(1) 平成29年度に向けた準備や取り組みについて

- ・ 国の動向・資料について
(厚生労働省 社会保障審議会 障害者部会 (第83回))
- ・ 「 放課後等デイサービスガイドライン 」 の遵守について
- ・ 参考書籍の紹介

(2) く イベント・啓発プロジェクト > の設置準備について

- ・ 「 1万人メッセージプロジェクト 」 の推進とすすめ方

(3) これからの く 児童通所サービス等事業所連絡会 > について



▼ 第11回 平成29年 3月7日(火) (★ <第27回目>) (30団体 36名 参加)

(1) 『 あかし児童通所サービス等ガイドブック (ねがいぼし) 』 の更新等について

- ・ <第2版> の発刊に向け、く「 あかし児童通所サービス等ガイドブック 」製作プロジェクト > として、体制を強化

(2) く 平成28年度 > の ふりかえり

- ・ 成し遂げたこと / 今後の課題 → 平成29年度に向けて

(3) く 平成29年度 > の 活動・取り組み について

- ・ く こども部会 > に求めること ・ く こども部会 > ができること
- ・ く ネットワーク > をどのような役立て、活発化していくのか
- ・ こども に とっての発達支援・療育とは ・ こども に とっての居場所とは
- ・ 放課後等デイサービスガイドライン ・ 自己評価結果の公表に向けて
- ・ く 啓発・イベントプロジェクト > について
- ・ く 先進地等視察・交流 > について ・ 短期入所について
- ・ く ワンポイントレッスン > について ・ そもそも、この会合のすすめ方 等

◎ く 児童通所サービス等事業所連絡会 > であがった「 思い 」や「 意見 」は、
「 必ず 還元 」していきます。



5. 児童短期入所ワーキンググループ（構成員 8名）

- ・①明石市内外の現状を把握すること、②設備・基準面の知識を深めることを通して、こどもの短期入所のあり方を議論しています。

6. リーフレットづくり プロジェクト（構成員 13名）

～ 『あかし児童通所サービス等ガイドブック（旧）ねがいぼし』～

- ・こどもたちや、保護者のみなさまのために、こどもの支援に携わる各機関・団体・事業所の相談支援の場で、こどもたちや、保護者のみなさまのためにご活用いただきたく、平成28年度までに、〈3,000部〉を発刊しました。
- ・明石市内をサービス提供地域とする〈児童発達支援事業所〉、〈放課後等デイサービス事業所〉等の児童通所サービス事業所及び明石市内の〈指定児童相談支援事業所〉等を掲載した冊子を、『あかし児童通所サービス等ガイドブック（旧）ねがいぼし』と題して、「明石市地域自立支援協議会 くども部会」名義にて、平成28年3月に作成したものです。
- ・平成27年10月の情報を基準に、〈明石市地域自立支援協議会 くども部会〉の各ワーキンググループ活動に参加している事業所に了承を得たうえで、各事業所の責任において作成し、掲載しています。
- ・平成29年3月末までに、明石市内を中心に、「保育所」「幼稚園」「小学校」「中学校」「特別支援学校」「民生児童委員」「主任児童委員」「民生児童協力委員」のみなさまをはじめとする、こどもの支援に携わるすべてのみなさまのもとへ配布しました。
- ・この冊子は、すべてのみなさまが、閲覧・複写・持帰りいただくことができるものです。
- ・発行から相当期間が経過し、新しく開設された事業所が掲載されていない等の課題が多数あり、〈第2版〉の製作が喫緊の課題となっていることから、平成29年中の発行を目標に、議論をすすめています。
- ・今後、ホームページに掲載したうえで、ダウンロードができるようにし、必要とするすべてのみなさまに届くための仕組みづくりを目指します。



※ 正式名称である『あかし児童通所サービス等ガイドブック』の呼称の定着をはかるため、平成28年度末をもって、愛称「ねがいぼし」を廃止しました。

▼ 第1回 平成28年4月12日(火)

- ・『あかし児童通所サービス等ガイドブック』の活用方法について意見交換をしました。

▼ 第2回 平成29年3月1日(水)

- ・更新をすることが喫緊の課題となっており、平成29年中に〈第2版〉の製作を行うことの方方向性を確認しました。

7. 事例検討チーム

- ・ <本会議>、<児童通所サービス等事業所連絡会>等にてあがった具体的な事例や課題について、適宜、必要なメンバーを招集し、議論します。
- ・ 本人・保護者に対するよりよい支援へつなげ、地域の課題の抽出を行います。

8. 先進地等視察・交流チーム

- ・ <本会議>、<児童通所サービス等事業所連絡会>等にてメンバーを募り、他都市の地域自立支援協議会・こども部会の取り組みを学ぶため視察を行うことや、<児童通所サービス等事業所連絡会>に招き、交流をはかります。

▼ 平成29年1月30日(月)

- ・ 神戸市こども家庭局 こども企画育成部 こども家庭支援課 視察(来所)応対
 - ・ こども部会の活動方針・内容について
 - ・ 「児童通所サービス等事業所連絡会」の設置の過程・運営の方法について
 - ・ 『あかし児童通所サービス等ガイドブック』の製作過程について 外

9. < こども部会 > 啓発活動

▼ 平成28年11月21日(月) 14時00分より

「明石市民生児童委員協議会 主任児童委員部会」にて啓発（提言・活動発表）

- ・ テーマ 『明石市地域自立支援協議会 < こども部会 > の活動と提言について』
～ わたしたちにできること。地域で支える、みまもる ～
- ・ 開催場所 明石市立 勤労福祉会館 2階 第4会議室（明石市相生町2丁目7-12）
- ・ 聴き手 明石市民生児童委員協議会 主任児童委員24名 及び 事務局職員3名 外



▼ 平成28年12月17日(土) 11時00分 ～ 14時00分

「 第1回 あかし赤い羽根共同募金フェア 」にて啓発（映像放映）

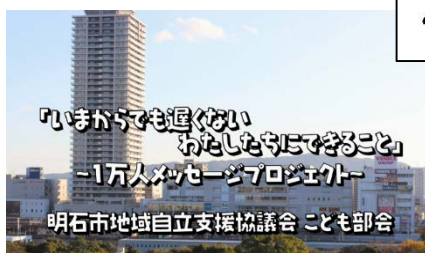
◎「第1回 あかし赤い羽根共同募金フェア」（〈兵庫県共同募金会〉・〈明石市共同募金委員会〉主催（事務局〈社会福祉法人 明石市社会福祉協議会〉））にて、啓発活動を実施しました。

・テマ『 いまからでも遅くない わたしたちにできること 』
～ 明石市地域自立支援協議会〈こども部会〉の活動をとおして～

・活動場所 あかし市民広場（パピオス明石（明石駅前再開発ビル内）2階）
（明石市大明石町1丁目6-13）

・活動内容

- (1)『〈こども部会〉製作の啓発映像』を、
220インチの大型液晶ビジョンにて、適宜、繰り返し
て放映しました。
- (2)『1万人メッセージプロジェクト』
来場されたみなさまより、ビデオメッセージをいただき
ました。



10.『こども部会 啓発Movie』（DVD）の製作

・「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」の理念のもと、
障がいがあっても、なくても、

「すべての子どもたちがしあわせに暮らすことのできる社会」・「ともに育つ社会」

の実現に向けて、

『今からでも遅くない。わたしたちにできること ～ 地域で支える、みまもる ～』

と題して、広く啓発するための映像資料を製作しました。



明石・三木

「地域発信が重要」

障害者理解へ

明石市地域
自立支援協

こども部会が提言

障害者総合支援法に

者や家族、市民ら10

が活動を報告した。

基つき、障害のある人

0人以上が出演するD

こども部会の飯塚由

も暮らしやすい地域づ

VD映像を流しながら

美子部会長(明石市立

くりを目指す明石市地

ら、地域へ発信するこ

あおぞら園・きらきら

域自立支援協議会の全

との重要性を提言し

施設長)は、「今から

体会が20日、同市中崎

た。

でも遅くない。わたし

1の市立市民会館で開

黒田大治郎会長(元

たちにできること」を

かれた。専門部会が昨

神戸学院大学院教

テーマに、障害のある

年度の実績と今年度の

授)ら委員15人が出席。

子どもたちを地域で支

方針を報告。このうち

くらし▽しごと▽こど

え、見守るための提言

「こども部会」は障害

者も――の3部会担当者

を発表。約30分間の映



DVD映像を流しながらこども部会の提言が
報告された明石市地域自立支援協議会
―市民会館で

像で、児童発達支援事業所の役割▽障害児を持つ母親の思い▽自閉症青年へのいじめ事例――などを報告するとともに、「もし自分だったらと思う」「個性を尊重して認め合う」などと市民からのメッセージも流して、みんなで支え合うために地域へ発信することの大事さを訴えた。委員からは「自分自身の問題

と気付くことが大事だ」「取り組みを丁寧に発信していこう」など共感の意見が相次いだ。

くらし部会はグループホーム拡充に向けたアンケートなど、しごと部会は市内の障害福祉施設の自主製商品のカタログ製作など、それぞれの実績を報告した。

【駒崎秀樹】

第48105号

明治25年3月25日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2016 (日刊)



新毎日

7月21日(木)

2016年(平成28年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号

〒530-8251 電話(06)6345-1551

毎日新聞大阪本社

毎 日 新 聞

障害児の41施設紹介

関係団体など保護者向け冊子

障害のある子どもたちが利用する福祉施設を紹介した冊子が、明石市貴崎1の市立総合福祉センターなどで配られている。場所や連絡先に加え、送迎の有無や活動日など「保護者が知りたい情報」を意識し、見やすさにもこだわった。

関係団体や市などで行く「市地域自立支援協議会」なども冊子が、各施設の特徴を知ってもらおうと昨

年3月に作成した。同協議会では2010年、障害の有無にかかわらず暮らしやすい地域づくりを目指し、障害者総合支援法に基づいて

発足。「くらし」「しごと」「いとも」の専門3部会があり、子ども部会は「児童通所サービス等事業所連絡会」を月1回開くなどして、支援の専門性向上や情報交換を行っている。

冊子はまず、41事業所の

一覧を地図で紹介。続いて、明石▽西明石▽大久保▽魚住▽二見▽神戸の6地区別に、住所、電話番号、ホームページの有無、運営主体、活動時間、具体的な活動などを記している。

作成チームで座長を務めた木村直樹さん(30)は、「利用者のニーズと合う事業所選定の参考になれば。施設間での情報共有にも活用してほしい」と話していた。

A4判で19ページ。市社会福祉協議会(市基幹相談支援センター) ☎078・924・9155(藤井伸哉)

障害児の通所施設を紹介した冊子―貴崎1



25 わがまち

明石

■明石総局

〒673-0882
明石市相生町 2-10-24
TEL...078-912-4343
FAX...078-913-2833
e-mail
akashi@kobe-np.co.jp

■本社報道部

〒650-8571
神戸市中央区東川崎町 1-5-7
TEL...078-362-7040
FAX...078-360-5501
e-mail
houdou@kobe-np.co.jp

火事や事故の速報、写真、映像提供、身近な話題、生活情報を上記へご連絡ください

©神戸新聞社 2017年 (日刊)

2017年(平成29年)

4月18日

火曜日



神戸新聞社

〒650-8571
神戸市中央区東川崎町1-5-7

電話 (078) 362局

報道部 7040 文化部 7044
経済部 7094 販売局 7066
運動部 7095 営業局 7081
映像写真部 7047 地域活動局 7086

パートナーセンターお客さま室
078-362-7056
月～土 10～17:30(日祝休み)

神戸新聞

購読お申し込み 0120・16・8349 月～土 9:30～19:00
日・祝 9:30～17:30

第42817号

(明治31年2月12日第3種郵便物認可)

平成28年度 < 明石市地域自立支援協議会 こども部会 > 本会議 ・ 児童通所サービス等事業所連絡会 等 会議・会合 等 開催実績

月	全 体 会 (明石市地域自立支援協議会)	運 営 会 議	本 会 議 (部 会 議)	児童通所サービス等事業所連絡会 (原則第3火曜日 ※一部の日程に変則あり)	ガイドブック P T	先 進 地 等 視察・交流	啓発活動
4				① 4/19 (火) (明石市立市民会館)	① 4/12 (火)		
5			① 5/11 (水) (明石市立市民会館)	② 5/17 (火) (明石市立市民会館)			
6		① 6/17 (金) (明石市立勤労福祉会館)		③ 6/21 (火) (明石市立市民会館)			
7	① 7/20 (水) (明石市立市民会館)		② 7/6 (水) (明石市立勤労福祉会館)	④ 7/12 (火) (明石市立市民会館)			
8				【 8/26 (金) 懇親会 (納涼大会) 】			
9		② 9/30 (金) (明石市立勤労福祉会館)	③ 9/14 (水) (明石市立市民会館)	(⑤ 9/20 (火)) ※ <平成28年台風第16号>の接近により中止			
10	② 10/19 (水) (明石市立市民会館)			⑥ 10/18 (火) (明石市立市民会館)			
11			④ 11/9 (水) (明石市立市民会館)	⑦ 11/15 (火) (明石市立市民会館)		・ 11/21 (月) (明石市民生児童委員協議会 主任児童委員部会)	
12	③ 12/21 (水) (明石市立市民会館)	③ 12/16 (金) (明石市立勤労福祉会館)		⑧ 12/20 (火) (明石市立市民会館)		・ 12/17 (土) (第1回あかし赤い羽根 共同募金フェア)	
1	④ 1/25 (水) (明石市立市民会館)	④ 1/6 (金) (明石市立勤労福祉会館)	⑤ 1/11 (水) (明石市立市民会館)	⑨ 1/17 (火) (明石市立市民会館)		・ 1/30 (月) (神戸市こども家庭局 対応)	
2				⑩ 2/21 (火) (明石市立市民会館)			
3			⑥ 3/15 (水) (明石市立市民会館)	⑪ 3/7 (火) (明石市立市民会館) + 【 3/7 (火) 親睦会 (忘年度会) 】	② 3/1 (水)		